

### 現在の担当業務は

主に、と畜検査と微生物検査、病理検査を行っています。と畜検査では、搬入された家畜が食用に適するかどうかを全頭検査しています。微生物検査や病理検査では、病変部にいる細菌や病変部の組織や細胞について検査を行っています。様々な検査を通して、病気の原因等について考察することが楽しいです。

### 職場の雰囲気は

と畜検査のための知識、技術のみならず、困ったことは何でも相談しやすい環境であると感じています。と畜検査はシフト制であるため、調整して他業務のために時間を確保することができますし、時間休も取得しやすいです。



と畜検査

### 県職員を選んだ理由は

ペットを治療する獣医師は動物を通して飼い主の心を、産業動物（牛、豚）を治療する獣医師は飼い主の財産を守る仕事と考えていますが、県の獣医師（衛生）は動物を通して県民の健康を守る仕事であり、やりがいがあると感じたためです。また、業務時間が決まっているため自分の時間が確保しやすいと考えました。

### 県職員になって良かったこと、感じたギャップは

と畜検査が主な業務になることから、業務量も安定しており、休暇制度等も活用して毎日無理なく働くことができます。また、1日1000頭程度の家畜を処理することから、珍しい病変に遭遇する機会もあり、それを生かした調査研究等も行えることからやりがいを感じています。



病理検査用顕微鏡



### 山口 佳恭

庄内食肉衛生検査所 試験検査課  
(令和元年度採用)

#### 入庁後の経歴

令和元年度	庄内食肉衛生検査所 検査指導課
令和3年度	庄内食肉衛生検査所 試験検査課
令和5年度 令和7年度～	庄内総合支庁生活衛生課 現職

### ある1日の流れ



8:30

業務開始（ミーティングによる業務内容確認）

9:00

微生物検査（細菌の培養、PCR等）

10:30

豚のと畜検査

12:00

昼休み

13:00

病理検査（標本の作製、染色等）

15:30

豚のと畜検査

16:30

事務作業（報告書、調査研究等）

17:15

業務終了